

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 伊藤 耕	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	結核予防対策推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	結核のまん延防止を図る	
事業概要	島根県結核対策推進計画に基づき、「早期発見の推進」、「定期健康診断の受診率・予防接種の接種率の向上」、「病院や施設内での集団感染対策」を重点施策とし、結核対策の推進を図っている。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	結核罹患患者（人口10万人対）	目標値		18.00	17.00	16.00
式・定義	新規結核患者数/県人口×100,000	実績値	19.50	18.10	15.70	13.90			
		達成率		99.40	107.60	113.20			%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	24,691	40,814
うち一般財源(千円)	14,022	21,336

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

結核罹患率を平成27年度までに15.0人以下とする目標を掲げて事業を行ってきたが、平成26年度の罹患率が13.9人となり、目標値を達成できた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

結核の罹患数が減少した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
集団感染が発生すれば患者数が大幅に増加することも考えられる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
高齢者施設を中心として施設内での患者発生リスクが常にある。
- ③原因を解消するための「課題」
施設内の感染拡大防止対策を普及啓発することが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

現在の島根県結核対策推進計画は平成27年度までの計画であるため、今後の対策の方向性を含め、平成28年度以降の計画を作成する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）